



東 久延 議員  
(一括質問方式)

- ① 防災行政無線
- ② 避難所開設運営
- ③ 地域自治組織の再編
- ④ 今坊喜多漁港土砂対策
- ⑤ 市道管理

港の修繕・改修などの対策について

**問** 今坊喜多漁港内に堆積する土砂は昨年度除去したが、漁港内には、大雨時に川の土砂が流れ込み、数年も経たずに堆積し、漁船の出入り作業に危険を伴うことがあると聞いているが、改修等の対策はできないか。

**答** 河口や漁港港口に堆積した土砂は、堆積状況に応じてしゅんせつ工事を行っています。漁港港口の砂の堆積の主な原因となる漂砂を対策によって制御または除去することにより、継続的な漁港施設の維持管理ができるものと認識しています。しかし、半永久的な構造物を設置するためには多大な費用がかかることから、専門機関である漁港漁場漁村総合研究

所の技術支援を受け、効率的な漁港施設管理の検討を行っていきたいと考えています。

市道管理の方法及び現状について

**問** 山間部の市道は地元の方が草刈等の管理を行っているが、人口減少、高齢化等で管理が年々できなくなるとの意見を多数聞く。市は地元からの要望があれば、建設業者か森林組合に管理を委託するなどの考えはないか。

また、市道管理の現状はどうなっているのか。

**答** 市道の草刈りについては、利用者が不特定で通行人に支障がある幹線市道等では市で直接実施されていますが、ある程度利用者が特定されるような地域の市道については、財政状況も厳しいことから、各地域の皆様が御協力、御支援をいただいているのが実情です。市道の維持管理については、管理者である市の責務であることは十分認識をしています。決して十分な体制とは言えない状況ですが、職員による道路パトロールや住民の皆様からの要望等お聞きし、緊急性、必要性を考慮しながら少しでも良好な状態に保てるよう、今後とも維持管理に努めていきたいと考えています。



桝田 和美 議員  
(一問一答方式)

- ① 防災意識の向上
- ② 大洲の観光、まちおこし
- ③ 地域包括ケアシステムの構築
- ④ 教育行政

顔はめ看板の設置について

**問** 最近は新しい感覚で各地の観光地が顔はめ看板を取り入れているようだが、当市でも取り入れれば、観光客が自分で撮影した画像をフェイスブックなどに投稿し、知らない間に大洲をPRすることができると考えられる。そこで、市内の顔はめ看板の設置状況と今後の取り組みはどのように考えているのか。

**答** 大洲市の観光用顔はめ看板については現在鶴と鶴匠の看板があるのみですが、大洲城においては、顔はめ看板ではありませんが、なりきりパックと銘打ち、坂本龍馬の衣装や戦国武者の鎧を貸し出す有料サービスを行っております。顔はめ看板で撮った写真をフェイスブックなどに利用して発信す

る方法は、まちの魅力をアピールするには費用のかからない有効な手段です。

今後、大洲城を含め観光施設への設置につきましてもあわせて検討していきたいと考えています。

介護サービスを支える人材確保について

**問** 介護サービスを支える取り組みについて、高齢化していく担い手など、人材確保への取り組みと処遇改善の必要性についてどのように考えているのか。

**答** 介護職員については、産業全体で比較しても賃金水準が低く推移しており、離職率が高い傾向にあります。このため、平成21年度から介護職員処遇改善交付金が創設され、平成27年3月までの間、介護職員処遇改善加算として介護報酬に組み込み、処遇改善に取り組んでいます。

また、国においては、福祉人材確保対策検討会を設置して議論が進められており、来年度より新たな財政支援制度の対象事業として、多様な人材の参入促進、資質向上のための各種研修制度の充実、介護従事者の勤務環境改善支援などの事業が検討されており、市としても、その動向を注視し対応してまいりたいと考えております。